令和５年度

コミュニケーション英語Ⅲ

11　新潟翠江高等学校（通信制）

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験回数
選択	4	12	16	2

教　科　書	学 習 書･副 教 材 等
All Aboard ! English Communication Ⅲ　（東京書籍）	*All Aboard ! English Communication Ⅲ　WORKBOOK*（東京書籍）

学　習　目　標

英語を通じて，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるとともに，日常の話題や情報，考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を育成する。

	単　元　名	学　習　活　動	評　価　方　法
前期試験範囲	Lesson1 動詞の現在形・過去形など Lesson2 現在完了形など Lesson3・4 不定詞・動名詞・受け身など Lesson5 関係代名詞・関係副詞など	ざんねんないきものについて紹介する。 施設・建築物を外国人観光客に勧める。 お勧めの名店のパンフレットを書く。 相談されたことへの返事のメールを書く。	第１回レポート 第２回レポート 第3･4回レポート 第5･6回レポート
後期試験範囲	Lesson6 仮定法過去など Lesson7 関係代名詞など Lesson8・9 後置修飾の分詞・比較表現など Lesson10 分詞構文など	校則について意見を書く。 史跡について説明を書く。 エシカル･ファッションについて意見を書く。 尊敬している人物について書く。	第７回レポート 第８回レポート 第9・10回レポート 第11・12回レポート

学　習　方　法

＜レポート＞

英語の様々な表現を学びます。レポートの問題は，教科書をよく読み，必要に応じて辞書を使いながらすすめましょう。指示をよく読んで，計画的に取り組んでください。

＜授　業＞

授業では，レポートの問題をいくつか取り上げて解説します。授業を受ける前にレポートの問題をやって疑問点などを確認しておきましょう。英作文は，貴重な機会ですので積極的に取り組みましょう。

＜平日スクーリング＞

普段の授業ではできない英語でのコミュニケーション活動や，異文化に触れる講義を受講して，英語の楽しさやおもしろさを実感してください。

＜放送視聴＞

指定された番組を聴いて，放送内容をレポート冊子の巻末にある放送視聴報告書にまとめます。レポートに添付して提出，合格すれば義務時数の代替になります。１回の提出につき報告書２枚の添付が可能です。レポート作成の参考になる内容も多いです。上手に学習に取り入れてみましょう。

＜試　験＞

レポートの学習内容を確認する問題を出題します。レポートの内容を復習して受験しましょう。

評　価　方　法

レポートの提出状況，スクーリングの出席状況，定期考査の成績を総合して評価します。
レポートの評価は次の観点から行います。

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
コミュニケーションに関心をもち，基本的なコミュニケーションを図ろうとしている。	外国語で情報や考えなどを適切に伝えようとしている。	外国語で聞いたり読んだりして，情報や考えなどを理解しようとしている。	外国語の学習を通して，言語についての知識を身に付けるとともに，その背景にある文化などを理解しようとしている。

担当者より一言

NHK の高校講座を聴いたり，授業に出席したりして，英語のリズムに慣れ親しんでください。教科書の内容を理解するだけでなく，自分の考えを表現できるように英語を学んでいきましょう。